



# 名古屋の偉人伝

No.40

## 浅野祥雲(あさのしょううん)の巻

ここがスゴイ！

名古屋を拠点に、当時最先端の素材であるコンクリートを使った像を 500 体以上作成した造形家。



出典：『神洲五色園案内図』

## こんな人生を送ってきました

明治 24 (1891) 年、岐阜県坂本村 (現・中津川市) に生まれる。本名・高次郎。父親は農業のかたわら地元で伝わる土雛 (土人形) を作っており、祥雲もその技術を受け継いだ。

大正 13 (1924) 年、家族とともに名古屋に移住。映画館の看板書きなどをしていたが、昭和 5 (1930) 年から、浄土真宗の教えを伝える巨大宗教公園「五色園」(日進市) の像の制作を開始。10 年ほどかけておよそ 100 体のコンクリート像をつくる。その後も軍人慰霊像 (覚王山→南知多町)、桃太郎神社 (犬山市)、名古屋市歴代市長像 (平和公園)、関ヶ原ウォーランド (岐阜県関ヶ原町) の武将像などの他、各地の寺の仏像や観音像なども手がける。

昭和 53 (1978) 年、死去。

## もっとくわしく知りたいあなたに

『コンクリート魂 浅野祥雲大全』大竹敏之／著 青月社 2014

『東海珍名所九十九ヶ所巡り』大竹敏之／文・写真 デイズ 2009

『東海の異才・奇人列伝』小松史生子／編著 風媒社 2013

『わからない彫刻 見る編』富井大裕／編 武蔵野美術大学出版局 2024

『戦没軍人像の近代』平瀬礼太／著 風媒社 2025

『税金で買った本 13』ずいの／原作 講談社 2024